

研究内容 2

上記⑤の子どもの発言にあるように、考えが変容したきっかけを問うことにより、「どのように学んだか」という視点から、自分の学びを捉え、本時で身に付けた言葉の力を自覚する子どもの姿を引き出すことができたと考える。このように、1単位時間の終末で考えの変容のきっかけに目を向けさせることは、言葉の力をどのように獲得すればよいかを自分で捉えるとともに、全体でその獲得方法を共有することにつながるものであると考える。今後は、「何を学んだか」、「どのように学んだか」という視点だけでなく、身に付けた言葉の力を生かして「何ができるようになるか」といった視点や、言葉の力を理解している自分や仲間との姿を意識化させることも取り組んでいきたい。